

■【会計】インポート機能をご活用ください。

PBシステムには「会計／給与データのインポート機能」があります。今回は「会計データのインポート」についてご紹介します。下記のような場合などにご活用いただきたい便利機能です。

（活用の一例）

◇ 会計データの取り込みをおこないたいとき

他の会計ソフトからPBシステムへ会計データの移行をおこなう場合、会計マスタの一部や仕訳データなどをインポートすることで、作業が効率的に進みます。

◇ 会計マスタを、他の会社データに転用したいとき

例えばグループ会社など、マスタ体系の似通った会社データを新たに作成する場合、会計マスタのインポート機能を使えば、作業時間を短縮することが可能です。

●●● おもなインポート可能データ

メニュー		インポート可能なデータ
会計帳簿	仕訳日記帳	仕訳データ
	受取手形帳	手形データ
	支払手形帳	手形データ
マスタ作成	科目設定	補助科目データ（※勘定科目データは対象外）
	取引先設定	取引先一覧データ
	摘要設定	摘要データ
	定時取引仕訳設定	定時取引データ
	定時取引伝票設定	定時取引パターン
	期首残高登録	期首残高リスト
	過去実績値リスト	過去残高リスト

●●● インポート手順

PBシステムにインポートをおこなう場合、各メニューに応じた形式になるよう、インポート用のCSVファイルを加工していただく必要があります。

例) 仕訳データのインポートの場合

PBS「仕訳日記帳」の雛型に沿ったCSV形式で仕訳データを作成



インポートにより、CSV内のデータがPBSの仕訳として登録される

手順の詳細は、サポートページへ。

NMC サポート



マニュアル・手順書

～財務会計・Moneytree「仕訳データインポート手順書」